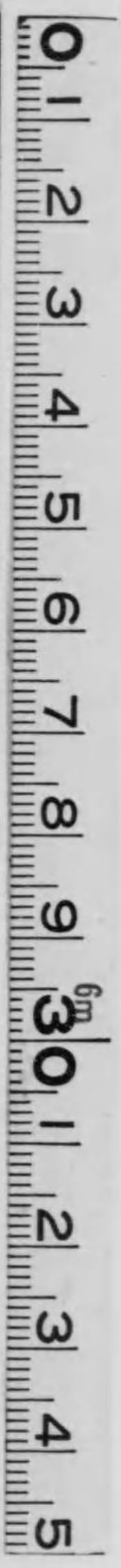


14.21
2511

島根縣種畜場臨内報第9號
馬才、占美と出雲コーチン



始

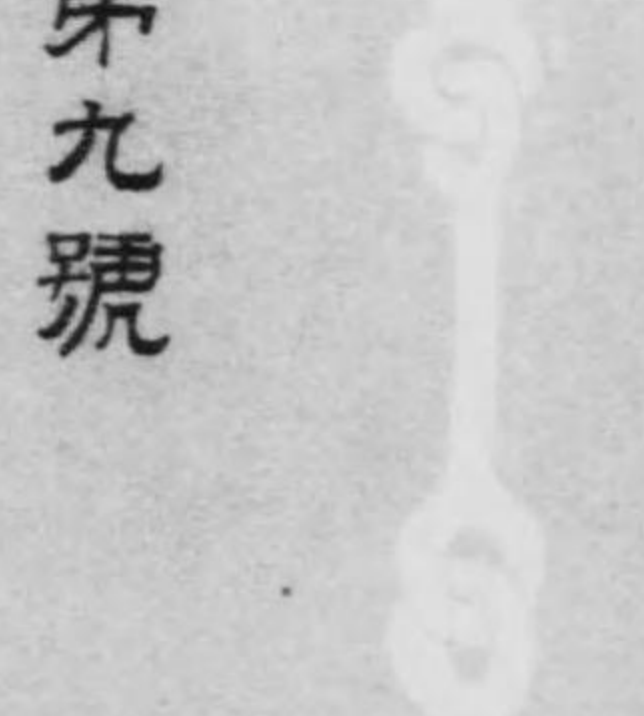
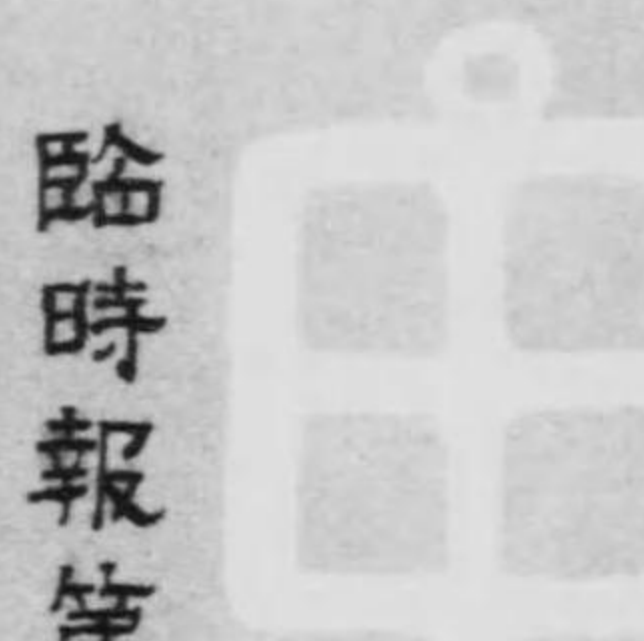


臨時報第九號

馬六よ美と

山雲コーチン

島根縣種畜場



142-251

(一) 年中行事

一月

馬は元來草食獸であるから草を充分に給與すれば生育する道理である然るに之れは野生時代の生活法で一旦家畜となつて人類の要求する諸種の役務に服する場合は草のみでは充分に能力を發揮することは出来な
い故に濃厚飼料即ち燕麥、大麥、大豆、穀等を役務又は發育の程度に應じ相當に良草を混して給與せねばな
らぬ然るに本縣に於ける馬の飼養は往々濃厚飼料を過用し草の給與を忽諾にする傾きあるは大に考へ
ならぬ

此月の飼料は乾草に濃厚飼料を混し若し乾草なきときは藁にても宜しいが藁と與ふる際は大豆と混
が夏いのである

年中最も寒氣烈しき時期なれば保温に勉むるのが肝要である即ち厩舎内は敷藁を豊かにし賊風の侵入を防
さ戸の開閉も外氣の温度に依りて適當に行はねばならない。此期は特に皮膚の手入を怠つてはならぬ
然らざれば忽ち虱發生し營養を阻害し或は皮膚病の原因となり且つ寒胃に侵され易いと認められて居るか
らである。

運動は兎角冬期間に於ては不足勝ちて従つて不均稱の發育を來す場合が多い故に天氣晴朗の日は積雪の地
にても勉めて運動せしむるが良
蹄は運動不足の爲め延長すを以て時々削蹄を行はねばならぬ殊に幼馬は削蹄を怠るときは肢勢と不正な

大 5. 1
内 交

らしむる害あるから注意すべき事である妊娠中の馬は此時期特に消化し易き飼料即ち燕麥又は挽割大麥、
穀、大豆等を増飼し胎兒の成長に資し以て健全なる仔馬を得ることに心掛ねばならない

此月の多発病は腺疫呼吸器病痲痛症等である
腺疫は一種の傳染病であるが幼馬又は受渡過度の馬に罹り易いから常に動物は強健にし抵抗力の増進を計
ることに注意せねばならぬ又他より購入の馬は急に土地氣候飼料等の變化に因て發する場合があるから之
又注意を要する此疾病に罹るときは馬は鼻より水様の液を漏し其液は日を経るに従ひ灰白色又は黄線色の
膿のよみな液になり体温は三十九度以上に昇り食慾なく重きものは先づ顎凹腫れ遂に化膿し餘病と併發し
て死に至らしむることがある故に本病と認るときは健馬と隔離し直ちに獸醫の診察を乞はねばならぬ
呼吸器病中流行感冒、胸疫、並に鼻加答兒、喉頭炎、肺炎等其主なるものにして流行感冒、胸疫は傳染性のも
ので其他は非傳染性であるが何れも素人觀には腺疫に類似した病氣であつて注意すべきことも殆んど同様
である

痲痛症には種々あるが此期は感冒に基づき發病する場合が多い本症は卒然發作して一時輕減し更に反復發
作するのが此症の特徴である而して輕症は三十分位間に治するにあるも重症中十二時間以上に渡り反復
發作し腸轉位の如き合併症を發すと危険である故に原因となるべき事柄は常に注意して避けねばならぬ
縣は馬匹の改良を計らん爲め縣の承認を得たる優良牝馬を購入しだるものに對しては補助金を支給して居
ります其出願は左記様式に依り此月中郡市町村長を経由して縣知事宛に出願するのである

優良牝馬購入費補助願

一種 類

毛色

年齢

体尺

一 購入價格

妊娠馬(又ハ三四歳馬)

右馬匹購入ノ上蕃殖ニ供シ度候間購入費ニ對シ御補助被下度此段願上候也

年 月 日

住 所

氏

名 印

島 根 縣 知 事 殿

二 月

前月と大差なきも雨雪多き月なるを以て従いて運動不足となり蹄の發育を害し甚しきは蹄又腐爛と云ふ蹄
又の病に罹り此部惡息を放ち疼痛を感じ跛行する様になるから厩舎内に於ては毎日一回蹄を清潔に洗滌し
蹄油を塗り本病の豫防に勉めねばならぬと共に運動といふ事を忘れてはいけない此月には國有種牡馬種付
牝馬検査日割場所並に種付願書出願期限を縣告示を以て定めらるゝから四歳以上の牝馬の所有者は畜産組
合又は町村役場に就き能く縣告示を見て左記様式に依るを種馬所に差出す必要がある

一 種付願様式(葉書ヲ用ユルコトヲ得)

一 馬 名

種類、 毛色、

生年月、

体尺、

産地、

父系母系

右貴所種牡馬種付相願候也

年 月 日

住 所

所有者(又ハ管理者)

氏

名 印

(注意)

一 管理者ノ出願スル場合ハ所有者ノ氏名ヲ並記スヘシ

二 出願者ハ前各項ヲ列記シ便宜連署若クハ總代ヲ以テ又ハ畜産組合長總代トシテ願出ツルモ妨

ケナシ

三 月

飼養管理は前月と大差なきも前年の四月に種付したる牝馬は略今月に分娩するものである左に分娩徴候の概要を述べ参考と致します

- 一、分娩期近頃は乳房膨大し乳頭を壓するに粘着性の淡黄色の乾汁は搾れる
- 二、陰部弛緩す
- 三、分娩愈々切迫すれば腹部急に垂下す
- 四、分娩切迫すれば尾根より薦骨の兩側は稍々陥没したる如く見ゆ
- 五、臍部急に陥没す

茲に便宜上妊娠馬に就き注意要項を概略記すれば左の如し

妊娠馬は成るべく廣き厩舎に入れ常に新鮮なる敷草を入れ飼料は胎兒の養育を顧慮して平常よりは増してやらぬはならぬ併し多量に過さず消化器を害さぬまで肥へ過ぎると却つて胎兒の發育を害する事あるのみならず難産の原因となるから俗に云ふ八合肉を保つことか必要である運動は勿論必要で過度ならぬ

使用は分娩一ヶ月前位までは宜しい其他は牽運動を行はねばならぬ

分娩期が近くに從つて一層飼料に注意し特に便通を良くし其他劇しき音響又は驚怖せしむべき行動をやらぬ様に注意が必要である

分娩は概して人の助けを藉らずに済むのか至當である難産にあらざる限り下手を手傳は却りて害をなすことがある分娩をすと母馬は産れた仔馬の体を甜めて美腿にしてやるものである丁度人間か子の初湯を行ふと同一道理である若し母馬か難産にて疲れ産仔を舐めぬときは脱脂綿又は藁束を清潔なる微温湯に浸し能く絞つて拭うてやるが良い

分娩後は母体は軟き藁にて摩つて汚れた部分を充分に掃除し敷草の汚染したるものは新鮮のものと換へて胎盤の出るのを待つのである胎盤は大抵産後一、二時にして排出されるものであるから排泄物は直ちに厩舎内より取り去り衛生上無害の地に埋めるのである而して母馬の健康と乳房には特に注意し乳量は充分なれば良し若し不足なる場合には燕麥藪の如きものを除々に増飼して乳量を増すことを考へねばならぬ又母馬は仔馬に乳を興へることを嫌ふものがある然し之には二通あるようである即ち一は仔馬可愛さの餘り自分の眼前に置かむが爲め仔馬乳房に行くを好まず直ちに後驅を反対側に避けると一は初産に多く見る状態を仔馬を恐れ嫌ふのとある故に第一の場合人は立寄り静かに稍くすれば良い第二の場合母馬を制縛し仔馬を扶けて乳房に附加しひるのか一般のやり方である然れども馬に依りては却りて反抗心を起し悪結果を見ることかある故に此場合酒三合位を興ふるときは約一時間位沈静す此機に乗し仔馬を導き哺乳せしむること二三回反覆するときは善く慣るゝようである

分娩後數日間は馬房を出さず凡そ一週間も経つたなら天氣の日を選びて初めて厩外に出してやる初めは其

時間を短くし漸次仔馬は外氣に慣るゝに従ひて時間を長くして初めて放牧するのであるが放牧すると母乳は水分多くなり爲めに仔馬の胃腸を害することがあるから注意せねばならぬ又使役馬であつたなら輕役に服するは三週間位からで仔馬には時々哺乳せしむるのである

産後九日前後經つと母馬の發情を見る此際種牡馬を配するの尤も受胎歩合が宜しい其後は二乃至三週間で發情を見るから注意して時機を失はぬよう種牡馬を配合するのである
産駒は五六週間を経ると飼料を欲するようになる其時は先づ軟かな生草に挽割燕麥又は挽割大麥に穀等と混して與へ漸次其量を増し同時に哺乳の回数を減し時々別房にて飼ひ終に離乳するのである其時期は生後五六ヶ月目が適宜である
種馬所にては下旬より國有種牡馬の種付開始せらる

此月には特に多發病と認むべきものなきも妊娠馬の起立不能及産駒の急性肺炎がある妊娠馬の起立不能は老馬に多く其原因は營養不良と運動不足に因るようであるから老馬の妊娠中は特に注意して運動を行ひ之等の原因を除去することに努めねばならぬ

三月は未だ朝夕の冷氣甚しき爲め産駒は屢々急性肺炎に犯さるゝ事ある以て此を月の分娩に係かる牝馬所有者は特に産室の保温に注意せねばならぬ本症は發病後の治療概ね無効に終るを以て豫防專一である

四 月

四月は分娩最も多き月なるを以て前月に述べた事項に就き注意せられたい

四月上旬より去勢開始せらるゝから縣告示に依り示されたる最寄場所には明三歳又は去勢疎猶を取消たる

明け四歳以上の馬は去勢技術員に依り去勢を受くるのが良い若し怠るときは自費去勢を命せらるゝことがある

四月は飯石郡吉田村、安濃郡佐比賣村、隱岐國、海士村、黒木村、浦郷村、國有種牡馬種付所か開始せらるゝを以て牝馬の發情に注意し其期を逸せず種付するが良い左記に發情の徴候を參考までに述べることに致さん馬の交尾は春情の充分に熟したときにあらざれば受胎は六ヶ敷ものである發情を知るには牡馬に接近するのが確實であつて牡馬を恐れず却つて接近し屢々排尿するの状態を呈し之に反する時は未發情と認めて宜しい現今去勢の普及に依り牡馬は去勢せられ何處にても試情は困難であるから外觀より知るの必要がある

一 發情すれば陰部膨大して粘膜潮紅す

二 厩舎内にて稍々騷擾す時々咀嚼を中止して事物に注意の狀をなす

三、牡馬を慕ふの狀をなし時々嘯くものがある

四月二十日兼川郡大津村にて山陰馬匹大市場開催せらるゝを以て賣買又は交換希望者は其市場を利用するのが取引上尤も有利である

産後二週間以内に多發する疾病としては仔馬の膿毒性關節炎がある其原因は臍部より不潔物侵入に因る本症に罹ると先づ發熱し能く哺乳しない關節は急に腫脹し遂に化膿し漸次衰へて斃るゝ場合が多い故に本病は豫防を專一とすので即ち産室は常に新鮮なる藁を敷き仔馬を汚染せしめぬよう又臍部を消毒し繃帯を施し置く事が最も安全である

島根縣産馬同好會では馬事思想普及の目的を以て春秋二回競馬會を開催することになりて居ります春期は此月に濱田町に於て開催し期日方法等は新聞紙上にて發表せらるゝを以て同好者は競ふて參加し馬匹の能力を

試されし

五月

普通放牧期に入るを以て準備が必要である先づ放牧せんとする馬は約一週間前より乾草期の飼料に青草を漸次増加し胃腸をして青草に慣れしめ然る後放牧するの良い舍飼中の馬を急に放牧するときは青草を食し胃腸を害し甚しきは死に至らしむることあり注意すべき事である

合格牝馬所有者にして左に掲ぐる事由を生したるときは種付牝馬の所有者は其の旨を所轄種馬所に届出ねばならぬ但種付合格證の種年號番號及種牡名を届書(葉書ニテモ差支ナシ)中に記載せねばならぬ

一、種付後牝馬ノ所有者ニ異動ヲ生シタルトキハ其所有者ノ住所氏名

二、種付後牝馬斃死シタルトキハ其ノ年月日

三、流産シタルトキハ其ノ年月日

四、出産シタルトキハ其ノ年月日産駒ノ名稱性及毛色

五、産駒ヲ讓渡シタルトキハ其ノ年月日價格

五月中の多發病は風氣疝及外傷である風氣疝は青草を飽食し運動之れに伴はざる場合に多く發す其状態は腹部は瓦斯の爲め急に膨脹し呼吸促進し病馬は不穩にして憂愁の状を呈し頗る苦悶す全治するものは頗りに放屁し腹部常態に復するも往々炭酸中毒卒中又は胃若くは横隔膜の破裂に依り斃ることを以て直ちに獸醫の診断を受くるが良し

外傷は放牧其他運動烈しき爲め不慮の傷害を受くる機會多きを以て今茲に一々述ぶることはできないが其

状態に依りて手當するか良し

再發情に就て特に注意して置きたい事は此月よりは農繁期に入るを以て繁忙に取紛れ發情と見失ふことがある之れ例年の種付狀況から見ましても田植時は尤も少なく其前後は多いようであります故に前月に述べた發情回歸の日を記憶して見失はぬよう種付するが必要である

六月

六月は氣候漸く暑くなるを以て家畜を襲ふ害虫即ち蚊蠅壁虱等發生す故に放牧中の馬蠅は止むを得ないとしても壁虱のみでも驅除したいものである然るに完全なる之れが驅除法は發見せられざるも簡便なる方法としては苦汁を塗付するのが宜しいようである又舍飼馬は厩内を稍々暗くし蚊蠅の害を防ぐことになし運動は早朝に行ふが良し

前年種付の遅れたるものに此の月に分娩するものがある之等の仔兒は春産のものに比較して玩弱であるから草生良好の牧場でない限りは放牧を見合せ充分愛護して育成せざれば成績は良くないようである而し愛護過度にして運動不足は良くない

六月の下旬よりは牛馬の所有者は乾草を調製し冬期間の飼料準備に心掛けねばならぬ本縣牛馬飼育者の状態を見るに牛馬飼育の巧拙の羅針盤は乾草準備にあると云ふても差支ないようである

乾草收穫の好時期は草の花が將に滿開せんとする時最も良しことになりて居り乾草收穫に際しては晴天の日を選び三日間にて乾燥すれば綠色にして香氣ある上等品が出来ます乾草の乾燥不充分なるものを貯蔵するときは微を生し營養分減退し且つ有害である

七月は炎熱烈しくなるを以て草生不茂又は水量少なき放牧地に放牧するものは却つて發育を阻害するから斯の如き放牧地にありては全放牧を廢し夜間放牧を行ふが良い
 舍飼馬にありては毎日運動並に河入を怠つてはならぬ
 縣は馬匹獎勵の趣旨を以て優良馬匹に獎勵金を支給し保留することになつて居ります即ち獎勵金の支給を受けたる馬は一ヶ年間は他に賣渡さず蕃殖に供することになつて居ります優良馬匹の所有者は本月三十一日迄に左の書式に依り町村役場を経由して願書を差出ときは検査の上で優良と認められたるものに獎勵金を支給することになつて居ります

書式

馬匹獎勵費支給願

- 一 種類
- 一 牝牡ノ別
- 一 毛色
- 一 生年月日
- 一 血統
- 一 産地
- 一 特徴

六月

右大正七年五月島根縣令第二十七號ニ依リ獎勵費支給相成度此段相願候

年 月 日

住 所 氏 名

知 事 宛

大正十年九月二十八日陸軍省令第二十三號を以て陸軍豫備馬貸付規則を定め陸軍は在郷軍馬制度を設け軍馬を地方に貸下げ有事の際は在郷軍人を召集すると同様に馬匹を徵發することになつて居ります貸下馬は貸下の日より滿四ヶ年を経過すれば貸下人に無償にて付與することになつて居ります其出願期日は毎年七月末日迄に左の書式に依り希望者は其他の師團長宛市町村長に差出すがよい

書式

軍馬貸付願

- 一 馬何頭
- 一 用途
- 一 何用何頭
- 一 何用何頭

右陸軍豫備馬貸付規則ニ依リ貸付御許可相成度此段奉願候也
 現住地何府(縣)何郡(市)何町(村)何番地
 氏 名 印
 生 年 月 日
 師團長 宛
 八 月

八月は年中最も炎暑烈しき月なれば發汗も從ひて烈しいから水與は充分せねばならぬ又暑熱の爲め食慾も多少衰へて参りますから厩舎内は可成清凉にし良好の生草を充分に與ふるが良し其他は前月と大差ないが乾草の調製は此月迄に終了するが良し之れ九月に至れば雨量は多くなると草質も硬化するからである仔馬の離乳の準備は必要である即ち仔馬の乳離れは生後五六ヶ月目か適當であることは前に述べて置きたしたが使役其他の關係で止むを得ず三四ヶ月にて乳離せねばならぬ場合は勿論豆乳及挽割燕麥穀等を良草に混して與へ充分愛護してやらねばならぬ然るに乳離早きものは發育を阻害するようであるから其緩急は幼駒發育の狀態に依りて餘程考慮せねばならぬ

離乳後は往々運動不足になり勝ちである然るに此時代は育成中の最も肝要なる期間であるから滋養ある飼料の給與と共に運動を充分行はねばならぬ夫れには共同運動場を設置して運動せしむるがよい馬蛇は馬に寄生する恐るべき寄生虫であつて其成虫たる馬蛇は恰も蜜蜂に似て特に尾端の内方に曲つた小虫で八月の頃には機敏に趨し來り馬体の各所に虱の卵に似たる卵を産付け不幸馬の舐觸作用に依るか又は飼料中に落ちたる卵を食するときは胃中に入りて孵化し蛹に似たる幼虫となり胃壁に寄生して盛んに動物の營養分を吸収する故に動物は瘦削し時々輕微の痛痛を起し甚しきは貧血に陥り斃死することがある如斯狀態は其年十一月より翌年一月の候に現はれます馬蛇幼虫の驅除には硫炭素一回二十瓦を膠囊に入れて内服せしめ二三時間の後下劑を投する尤も特効あるものと認められて居ります然し之れ又豫防が大切である事を忘れてはならぬ即ち馬の体表に卵を發見するときは小刀等を用ひ波毛を削り取る事が良し

九 月

九月は氣候漸く涼しくなり所謂馬肥るの候に向ふを以て運動と飼料との調和を計り發育中のものにおいては大に其發育を催し成馬は夏季の疲労を醫するのである下旬又は十月の初めには例年共進會開催せらるゝを以て出品馬の選に當れるものは殊更に努力せねばならぬ縣下生産地の幼駒の糶賣は例年九月中旬に行はるを以て購入者は厩舎其他飼料の準備をなし育成違算からんことを考へるが良し

九月二十日は篠川郡大津村家畜市場に於て山陰馬大市場開催せらるを以て賣買交換希望者は此市場を利用するが尤も便利である

十 月

十月は多數の幼駒は生産者の手を離れ育成者に移るもので育成者は細心の注意を以て馬匹固有の性能体格を發揮せしめて育成に依る利益と收得する準備が必要である即ち育成の要は飼料と運動と相俟て体格を作り調教に依りて從順性と役務に對する性能とを發揮せしめ初めて其結果を得るのである徒に厩舎内に美食安逸せしむるときは身幹のみ伸び四肢薄弱となり馬に希望する力量及速力充分ならず殆んど無用の長物となり終るものである

妊娠馬は本月頃に於て屢々流産するものを認める其の原因は要するに朝夕の温度の差甚しきと飼料變化の感作に據るものゝようである故に妊娠馬の所有者は此点に注意し凡て急劇の變化を避け且つ取扱を懇切にして流産を豫防することに心掛るが良し

陸軍豫備馬の貸付許可せらるゝときは十月二十日迄に通知ある事になつて居ります通知を受けたるものは

指定の日時及場所に於て貸付馬保管部長に借受人居住地の管理官(微馬管區所管の師團長)宛の借受証(左記様式)を差出し馬々名簿と共に馬を受領するのである

様式 貸付馬借受証

一馬 評價(馬名簿) 何圓

何(馬名)

一借受期間 自何年何月何日 至何年何月何日

右貸付御許可相成候ニ就テハ陸軍豫備馬貸付規則遵守可致仍テ借受証如此候也

現在地何府(縣)何郡(市)何町(村)番地

氏名 印

管理官 宛 十月 月 日 生年月日

十月は育成馬購入又は後繼牝馬購入等馬の移動頻繁なるを以て腺疫に侵染すること多いから已に一月中に腺疫に對する要項を述べた筈であるから夫れに依りて注意するが良し

十一月

十一月に於ける行事は前月と大差なく生産者は流産の豫防に努め又種付したる牝は素人にも妊娠の鑑定は判るようになるから妊娠馬と不妊馬は飼料及使役の上にて於ても夫々區別して注意するが良し育成馬にありては育成上の諸項に怠らぬようにするが良し

十二月

此月は全く青草期より乾草期に移る時期であるから屢々消化器病殊に疝痛を患ふ場合が多い之れ全く放牧中自由に原野を馳驅逍遙する馬が俄に厩舎に押込められ運動不足となり水分少なき乾草となり或は濃厚飼料の給與となり胃腸に一革命を誘起する結果と見て差支ない依て飼養上に於て急劇の變化をせぬよう注意して放牧前の飼方の反對に徐々乾草に還元せねばなりません

此月よりは眞の冬飼に入るを以て一月中の行事と大差なきも年末の事として兎角俗事に忙殺せられ爲めに動物の保護を怠り勝である注意を要します

明二歳の牡馬又は去勢を前年に猶豫せられたる牡馬の所有者は十二月一日より全十日迄の間去勢馬匹現在届と左記様式に依り馬現在地の市町村長宛差出すことになつて居ります

去勢馬匹現在届

(名稱(又ハ)番號)何歳何毛(特徴)(検査請求)(種牡馬候補學術研究)

右届出候也

年 月 日 住所

所有者(管理者) 氏 名

市町村長宛

備考

一去勢ノ猶豫ヲ希望スル者ハ検査請求及其ノ事由ヲ記スベシ

二去勢猶豫證ヲ所持スル馬匹ニ在リテハ其旨ヲ記載スベシ
三年齡ハ算年ヲ用ウ

四星流星又ハ肢ノ白毛等他ノ馬匹ト區別シ得ベキ特徴ヲ有スル馬匹ニ在リテハ成ルベク詳細ニ之ヲ記
載スベシ

去勢馬匹現在届提出後検査又は去勢終了前に其の馬匹に異動を生したるとき又は去勢猶豫せられたる馬匹
を所有するに至りたるときは左の様式に依り届出づるものとす

去勢馬匹異動届

名 稱(又ハ番號)何歳何毛(特徴)何月何日斃死撲殺失踪自費去勢施行又ハ何住所何某ニ讓渡
何月何日何住所何某ニ讓受何地ヨリ移入又ハ踪跡發見

右届出候也

年 月 日 住 所

所有者(管理者)氏

名

市町村長宛

(1) 飼 料

馬に與ふる飼料の主なるものは草と穀物とである

一、草 草は飼料のうちでも馬が野生時代からの食物であるから家畜となりても嗜好物で草食獸た
る馬には最も大切な飼料であります特に骨の増量には欠くことの出来ない飼料と見做されて居る而し湿地
の草には毒草が多いから與へぬが良し然るに今や馬匹の血液も段々進で最早野草のみでは充分でない即ち

牧草の時代が來た牧草と云ふと逆も耕作は出來ぬと屢々聞く事であるが私はそうは考へない我國のように
地積の乏しい處では耕作面積の狭くて済む牧草でなければならぬと思ふ野草に比べると營養分も多く馬の
出來方より打算するときは却つて經濟になると考へられる

牧草には種類も種々あつて又土地に依つて成績も多少異なりするが本縣では「オーチャード」は成績が良
い而して秋蒔は適するようである故に本縣の如く土地の餘裕なき所にては樹蔭又は家畜の口にしない雜草
の繁茂する所は可成利用して牧草を栽培するが良し

藁は普通飼料及び敷料に用ひらるるが飼料としては營養分が少なく消化も困難であるが之れを大豆などの
濃厚飼料に混せて與へると消化を助ける効能があり又乾草が無く穀物のみを用ゆる場合は是非とも藁を與
へるか良し

二、穀菽類 大麥は我國では産額多く從來馬の主なる飼料となつてをるが大麥は燕麥に比へると消化が
困難で又馬に脂肪の附き過ぎる嫌がある大麥は挽割となし切藁や切草に混して與ふがよい
大麥を撰ふには粒は充實して香が良く光澤ありて良く乾き砂や塵埃を混せず一升二百八十匁以上のものが
良し

燕麥は穀類中最も馬に適した飼料で第一に消化が容易で馬を甚しく肥滿することなく元氣を増し勞役馬の
力を與ふること到底之れに比すべきものはない通常粒のままでは與へて差支がない

燕麥は能く乾燥して色は鮮やかに光澤香氣あり目方は一升二百匁以上のものが良し
小麥、米などを共進會出品馬の飼料として與へると云ふことを聞くことあるが給與の上に餘程注意を要す
るもので若し誤ると消化不良又は蹄葉炎に罹る恐れがあるから與へぬが良し

馬を調教して乗馬なり輓用なりそれ／＼使役に適せしめ人の意のままに運動を行はしむるには相當の技術を要することであつて茲に簡單なる説明を以て何人にも容易に其方法を了解せしめんとすは困難である併し普通運動用乗馬、農馬、輓馬の調教は少しの經驗と技術を持つて居れば何でもない特に馬の性質を知り勉めて温和にして辛抱強く常に單純なるものより教ふることを根本義と考ふれば宜い依つて茲に馬の性質に就て其概要を述べて參考に供したい

凡そ主人となつては雇人の性質を知り又長たらんものは克く部下の人となりを知るに依りて初めて主従上下の關係が圓滿に且有利なることを得ると同じく人は克く馬の性質を知り初めて馬と相親み充分に其力を利用することを得るものであり若し人馬相反目するときは彼は偉大なる力を以て猛獸的に抵抗し却て無用の動物となり人は彼が力の利用を受くることを得ないて相互不幸に終るものである是等は始めより馬が敵對行動に出たのではなく人が其取扱を誤りたる結果に外ならぬ

偕て人間は言語に依りて互に思ふ所を語り合ふことができまた喜怒哀樂の表情も明らかであるから了解も早いが馬は言語もなく表情も頗る微弱であるから人は餘程彼の舉動に注意して役の意志を了解せねばならぬとかく思ひ違ひを生し易く意志の疏通を欠き爲に往々人と馬の間に不和が起つてくる

元來馬は人に對し極めて從順に且つ伶俐の性を有し記憶力の良い動物であるから人は之れを利用して調教し各役務に使用せねばならぬのである然るに馬の記憶力は之を仕込む上に極めて便利であるか同時に其記憶力がある爲に却つて悪化の現象を呈し仲々取還のつかぬことかある假令は九棒の如きものを以て虐待せる事あるときは馬車を曳く準備の爲猿木と近づくや否や以前棒を以て虐待せられたることを記憶より呼び起し直ちに虐待と早呑込の上之れを恐れ厭ぐが如き其一例である

馬の性質に向一つ重要なものがある即ち其風采如何にも堂々たるにも似合はず極めて小心にして臆病なものである馬の舉動中人間の目から見て實に意外なる物体に怖れて騒ぐことがあるが之れ皆臆病より來る結果である然るに動もすれば人からは反抗と見誤られて懲戒を加へらるゝことがある此場合馬は心中甚だ鬱ならずして人を恨み遂に眞の反抗をするようになるものである故に馬に接するものは特に此の性質を理解し見慣れぬ物体又は音響に遭遇したるときは徐ろに之れに導いて決して怖るべきでないことを悉に示すうやにせねばならぬ

馬の調教は右に述べたる如くにして其要を盡したるも更に一言を加ふる時は馬の性質を克く知る事が調教の根本義でありますから勉めて温和に接近し辛抱強く彼の性質を馴致せねばならぬ故に調教に當てば常に單純なるものより仕込み決して無理過分なる要求をなさず一つの事を教ふるに成るべく次に教へんとすることの豫備位に心得且速成を求めず進歩を急がず諄々と教へ若し出來たときには満足の状態を呈し愛撫の上胡蘿蔔の如き嗜好品を與へる若しできざるときは之を何回も繰返し忍耐して教へ込むようにせねばならぬ之に附ても調教者が短氣にして怒り易き様では到底馬を調教するの資格はない此の如き人は寧ろ愚癡みのを教へ込むことが多い之れを考ふるときは何故に日本の馬は世界中で一番性質が悪く北清事變其他協同戦争に於て諸外國より日本馬を稱して猛獸と嘲笑せられた理由も釋然として解るのである凡そ世界各國の民族中で日本人の如く馬に對し短氣で冷淡で其を取扱ふ方法知らず又之を愛する念慮の薄い人種は無いといふ事である一般に馬に接するや已の氣分に依りて厚薄をつけ更に一片之を愛するの念がないならば馬の性質は更に悪くなる一方で遂に親密を欠き人と馬との關係は愈々疎隔するのである故に主人は常に克く馬の性質を知り其取扱方法を學び各々役種に向つて調教し馬本來の能力を充分に發揮せしめねばなら

調教に付乗馬又は鞍馬の仕込は本縣に於ては種々の關係より三歳になつてから行ふべきことになつて居るが其以前幼駒の時代には専ら豫備調教を行ふを良とす其方法に付ては先づ馬体に觸れ又は四肢などを擧ぐる様な單簡なる調教に止めるのである之を詳述すれば哺乳中の幼駒は決して遲延することなくオー／＼と温和なる懸聲なして近づき肩の傍に立ちて掌を以て先づ軽く頸側を撫で恐れさるようになるに従いて肩部背部と順次他の部分に及ぼすのである而して何れの部分に觸接するも恐れさるようにならば終には肩を前方に押して体重を一方の肢に遷し他方の肢を擧げしむる様に馴らす後肢亦之れと同一の方法で馴すことが出来るか馬は後方には屢々視線の届かざることもあるから危険物と心得て蹴ることがあるにより穩やかな聲を掛け体を撫でつゝ行ふことを忘れてはならぬ

此の如く馬体に觸るゝことにならずのは第一手入や装蹄の豫行にするのが目的であるから体の何れの部分に觸るゝも厭はぬようになるに従ひて漸次藁を以て体を摩することより手入道具にならすことに及ぼし又肢を擧げることになるゝに従て蹄を擧げたまゝ、鐵篋で敲きなどして装蹄にもならずのである

頭に手を觸れても厭はざるに至らば鼻梁より頬などを撫で終に指を口角より口中に入れて漸次勒を装することをならす此時先づ勒を克く見せて恐ろしき物でないことを知らしめて初めて口中に入れ最初は其時間を短くし漸次長くするがよい又種々の物体にならすこともせねばならぬ之れは乗馬や鞍馬の調教と始められた後と雖とも常に注意して新奇の物に接する毎にならすの必要があるので決して或時期で終つたことにはされない最初は成るべく靜かな道路上で荷車の如き單簡なものから始めて漸を追ふて水車諸器械或は自動車、汽車、電車などにならすようである先づ夫等の物体に馬と導き幸に之等の物体を疑

はず懼れず別に意にも止めずして進めは良し少しにても驚怖するの模様があつたならば穩かに掛聲をなして馬を慰撫しつゝ其得心するに従ひて漸次に物体に近かつかせるのである此際鞭や牽綱などで決して強制をしてはならぬ一度或物体にならすことを過つたならば夫れを恢復することが容易でない

鞍を置くことにならずには最初に能く注意をしないと長く困難を嘗めねばならぬ先づ初めは鞍下毛布のみの練習をなし馬の得心の行く様に克く之に見せた後に靜かに頭の中央から滑らして背に下げろこで一旦馬を沈靜させ靜かにそれを取去る此動作は馬は惱まぬようになるまで繰り返し初めて前と同じ要領で毛布の上を鞍を置くのである此時鐘や腹帯は取除いて置き全くなれたる後夫等の附屬品を装するは安全である

ろこで愈々乗馬せんとするには騎手は先づ勒や鞍を検して後馬の左側に立て頭、肩、尻などを撫で或は四肢を擧げなどして馬を沈靜させて鞍の上を尙手にて敵さ愈々馬は驚くことなきを確めたならば初めて軽く鞍に跨りて頸の頭や腰を撫でて馬を愛撫し初の間は直ぐに下馬するか或は直ぐに歩かせるようにして一つ所に止まらぬようにするが良し以上は乗馬に騎乗を得るまでの調教であるが鞍馬農馬の如きもすべて前に述ぶる所と同一の要領で調教の歩を進むべきものである初めは鞍具や農具に馴らすため單に鞍具のみを装して牽運動を行ひろれになるゝのを待つて然る後初めて車や農具を附けるのである最初之れを附けたる時は馴れた古馬と同行せしむると調教は容易である又鞍馬農馬と雖前に騎乗の調教あるものは其調教に便利である

前に述べた筈あるが調教中には青草や胡蘿蔔の如き馬の嗜好品を携へて教へたことか出来た度毎に少しつゝ與へなごして常に愛撫ての用に供すると人と馬とは克く親むことができて調教上便利である

本縣馬匹の育成を見るに肥滿したるものはあるも殆んど調教に留意したるものは認められない即ち共進會

出品馬にして喧嘩甚しく審査官の容易に手を觸ることの出来ないもの多きを遺憾として特に調教に就て述べた次第であるから馬事に携る人は充分調教に留意し馬をして利用性の多からんことに努力せられたい

(4) 牛、馬 籍 法

大正十一年四月一日より馬籍法は實施せられ左の各號に該當するものは事由の生したる日より計算し三十日以内に左記要項を書面又は口頭を以て馬の飼養地の市町村長に届出するよとにありました

左 記

- 一、名 稱
- 二、性
- 三、種 類
- 四、毛 色
- 五、特 徴
- 六、産 地
- 七、生年月日
- 八、血 統
- 九、飼養場所
- 十、所有者ノ氏名
- 一一、所有者ノ住所又ハ居所
- 一二、管理人アルトキハ管理人ノ氏名住所又ハ居所

届出該當事項

- 一、馬ヲ所有スルニ至リタルトキ
- 二、馬ノ飼養場所ヲ他ノ市町村ヨリ移シタルトキ
- 三、馬ヲ所有シ飼養地ノ市町村ニ居所モ有セサルモハ其市町村ニ居所又ハ住所ヲ有スルモノヲ管理者ニ定メ届出ルモノトス
- 四、馬死亡シタルトキ
- 五、明三十歳以上コナリタルトキ又ハ國又ハ陸軍軍人ニ賣渡シタルトキ
- 六、前號ニ掲ケタル場合ヲ除クノ外馬籍ニ異動ヲ生シ届出ヲ要スル事項ノ變更(例ハ去勢シタル場合又ハ)

名稱ヲ變更ノ如シ)

以上ハ馬所有者ノ直接關係アル事項ヲ掲ケタルヲ以テ其他詳細ハ市町村ニ就キ承知セラルベシ

(5) 種 類 の 稱 呼

一洋種、外國種の總稱にして種類の原名明瞭なるものは其の名稱を用ゆ

例

カラアレット	アラーブ	アングロアラブ	ギドラブ
トロツター	ハクニー	ノウウス	アングロノルマン
ベルシユロン	アラハンソン	クライデスデル	

各種類の馬にして原産地以外に於て同種蕃殖に依り生産したるものは種類名の上に産地名を冠す

例

濠州産カラアレット 内國産ハクニー

純血種系の種類に純血系を配合して生産したるものは其の種類名を變するよとあし

例

アノクノルマン	子	アノクノルマン
カラアレット	子	アノグロアラブ
カラアレット	子	ハリニー

異種蕃殖に依り生産したるもの及種類名なきものは單に洋種とし産地名を冠し又は何地産馬とすべし

出雲コーチン種(九斤種)の設定

近來本縣に於ける養鶏業は浸々として進歩の状況にあります従て卵や肉を得る所の収益も決して少くは
ありません一時支那卵か本縣に輸入されたこともありまして聊か杞憂の点かないでもありませんでしたが
主に卵味の關係から直に一蹴せられ益内地生産の有難味を増した形となりまして農家の副業として最も有
利なる事業であることか愈々確認せられた様であります誠に本縣産業上喜ばしきこととわります由來本縣
は昔から卵肉の販路地を神戸や大阪に持てをります關係から特に卵に重きを置き従て卵用種か本縣の有利
鶏と成て居ります故に外國種でいふ時は「レグホン」「ミノルカ」系統のものを愛育する風習がありました養
鶏その者の改善も随分進た次第であります

所か本縣には其起源は不明でありますか「九斤」といふ「コーチン」種に似て非なる大形の鶏が存在して居り
まして其羽數の如き非常のものであります特に簸川郡に於て多い様に見受くる次第であります養鶏業も現
今は特に經濟に立脚したものでありますから利益なき養鶏は存立しない譯で鶏種の如きも其任仕と許さぬ
次第であります例之産卵に依りて最大利益を擧げたい時には可成体格か小形で飼料の小食な而も其能力は
優秀て卵形も大きいものを撰み早熟早肥て体格大なるものを肉用としては尊重するの一般の人情であり
ます畢竟經濟に合ふからであります一朝之を反對に觀察して見ますれば誰れも養鶏などをするものはあり
ませんし決して普及などは覺束ないこととあります然るに一見經濟上如何かと思はるゝ所の九斤か本縣台
中國、四國に於て勢力を持ち其飼養家の多數なること他の改良種と肩を並へて行く所なから考て見ます
ると余程何處かに長所かあらねはなりません而も本縣に於て之等の飼育者は頗る熱心家揃てありまして最

近に於ては九斤を種類と認め其能力及特徴等を廣く公表せねば止まざる氣勢さへ見ゆるのであります。斯の如く九斤は本縣に於て固き基礎を築き農家の副業として立派なる鶏種であるか如く認められて居り而も當業者のいふか如く實用鶏として他の改良種と比肩して遜色なきものとしませれば決して輕視する必要は何處にもない譯で寧ろ進て其種類の特徴及能力を天下に公表し尙其實利を紹介することか本縣産業上有利ではあるまいか。

由來本縣に於て九斤は外國種に對する對照原種と認められて一代雜種を作りかなり良き成績を擧げて居つて捨て難き鶏であつたのです。單獨に種類となり獨特の能力を發揮することか出來る様になれば尙仕合の次第であります。

今九斤を種類として公認するには体形の標準やら能力の記録がなければいけません。口碑や推測では到底社會から擯斥せらふてしまふ外ありません。

依て九斤種設定の爲に体形の標準能力の記録は之を後日の試験研究に待つ次第であります。其の者の概畧を述べ大方諸彦の高教を待つ次第であります。

起 源

一般に九斤及之に類似の鶏は記録等に依りて其起源を知ることか出來ないか極て近年の産出物であると思はれると同時に地鶏に外國種主に「コーチン」種を交配して出來上た物らし丁度明治十二年の頃、藤川郡平田町に米助なるものありて神戸地方から種禽を購入し爾來蕃殖に従事し郡内各地に於て農家の副業として地鶏と混養せられたといふ事實に徴しまして幾分かそこの消息が窺はれます。斯の如く其由來は誠に

莫たるものであります。か体型から考察して到底地鶏間の改良から出來たものではないことは明かでありませぬ。神戸地方から外國種の輸入か本種の基礎をなして居るたることか間違のないことである。本種の散在状態は實に廣いもので獨り山陰地方のみならず山陽四國に伸ひ其勢力は大なるものと云はねばなりません。鳥根や鳥取では九斤と稱へて居ります。か山陽及四國では「エーコク」と謂ふて居ります。之邊から見ますと平田町の住人なる米助氏なるもの、獨創の鶏種でない様に思はる、或は山陰地方に於ては本種は米助の流を汲たもので其他は或者に依り全一手段を以て偶然に全一物を作成したのではあるまいか。

名 稱

本縣に於て九斤といふたのは牡鶏か滿一ヶ年位經て体重か九百日位ある所から斯く命名したのらし。丁度其當時に於ては地鶏は体格か極て小形でありませぬ。獨り九斤は大形の体形を有して一般に珍重せられたる結果から九斤といふたのは最もの次第で理由か十分合ふと思ふ。

鳥取縣も全しく九斤と稱へて居り全意味なることか疑ふ余地はせありせん。岡山を中心とする「エーコク」は其意味不明であります。か其原種か或は英國より渡來したと思ひ詰た結果てはないたるか。

体 格

九斤は大なる体格を有する方でありませぬ。本縣に於ては牡鶏か九百日あるものは中等大のものとして特に賞美致します。か誠に小形のものもありませぬ。六百目にも達しませぬ。去りどて大形のものには一貫三―四百目のものか居ります。脚は長さ方て大形に屬するものは特に甚しいのであります。脚か長く太いものを吹竹だな

ど悪口いふて居るのを見ても素敵に長いものかあるのか窺はれます九斤も時々嗜好に依りまして体格に大小の差を生じまして目下本縣に於ては寧ろ小形の方を喜ぶ傾向があります即ち卵用に供する積りてありますが鳥取縣は本縣のものより猶小格を愛育します所か岡山や四國邊では寧ろ大格を賞用してをります其嗜好の何邊にあるか、畧推察せられます

体 型 其 他

九斤は骨格の堅々な肉附の良い外形の能く整ふたる中大の鶏であります既に申述べた如く雄鶏は九百匁ある時雌鶏約七百匁位あります雄にありては頭は中大の大ききさで嘴は黄色にして其根部強勁であつて僅に彎曲して居ります眼は寧ろ中大にして秀て居る冠は單にして寧ろ小形の方に屬して頭上に緊着直立し五齒に分裂して居り前一齒は「ミノルカ」の冠に能く似て反轉して居ります其質は緻密で乳嘴突起の發育は平均して居ります肉髯は嘴の畧二位にして下部は圓く其色は鮮紅色であります耳朶は稍小なる方で嚼より稍小て之亦鮮紅色で有ます頸は寧ろ長い方であつて直立して居り頸羽が多く能く肩を覆ふて居ります翼は小さい方て能く褶み胸は潤大で能く充實し背は短くて全体の中は廣く腰の所は僅に高まり尾羽に向て下て居ります其鞍羽は短なる方にして澤山に生して居ります尾羽は短く尾束は先端寧ろ小形を呈し其角度は四十五度以上てある其諸羽は稍長く先端は主尾羽の頂上より彎曲して居ります覆尾羽は諸羽に沿ふて彎曲してをるも尾羽に能く似てをるから見分け難いのであります腿は大にして強く軟羽を被て脛は寧ろ長く強いのであります趾は四ヶにして眞直に能く開張して居ります羽毛の色は一般に濃「バフ」色を呈し主翼羽は光澤に富む濃「バフ」色で副翼羽は「バフ」色であります主尾羽及諸羽は光澤に富む濃「バフ」色を呈して居ります脛及趾は

極めて鮮黄色を呈して居ります

以上は主に雄鶏に付て申述べた体型及其他でありますか雌鶏に付ても之に準ずると思は大差はありません

能 力

本縣に於ける九斤は肉を目的とするより寧ろ産卵に主きを置きし結果産卵能力に實に偉大なるものを生じて居ります兼川郡平田町では遂近年の「レコード」中に一ヶ年二百二十個を産卵したといふ事實があります誠に嘘の様な話でありますか百八十乃至二百個位の産卵鶏は珍しくないのてあります近來盛に全地方から他縣に全種か移出するのは全く此偉大な点からであると思ふ驚くの外はありません

然しなから一般に百個位の平均産卵量と思へば大差はないのであります卵は褐色で卵殻は厚く卵黄は黄味深い方てあります卵量は十四―五目に過ぎませんから小粒の方てあります

肉は骨格が大形てありますから其絶對量に澤山にある方てすか骨格との比較を取ら場合肉量の少ないといふのか至當てあります地鶏の系統てありますから肉の風味は宜しく肉質は稍黄色を帯ひて居ります

性 質

九斤は極めて温順て人に能く馴れ掌上の粒餌と平氣で啄む程てあります極めて強健て且つ粗食に堪ゆる特点を持て居りますか飼料は多量を要する方てあります極めて就巢性に富んで居りますから巢鳥として適當してをります相貌からして卵肉兼用種てあることは疑を挿挟む餘地はないのて從て其舉動は敏捷を缺きます能く細飼に恰適しますから之の点からも農家て珍重される筈てあります

晩熟性でありますか肥育の場合は豫想外に早く肉が附くのであります

一般ノ嗜好

一般に九斤が農家に歓迎せられ實力のある改良種と共に比肩する所以は種々なる事情が伏在して居ると思ふものの其最大原因は左記のもの位に止まる様です

一、「エーコク」と呼ぶ地方に於ては体格の偉大を喜んで居る羽毛が美麗であることを競走する非常に温順なることを誇てゐる「エーコク」を飼ふ眼目は此地方に於ては此れ以上ない様に認められたこともある畢竟全地方愛翫的に九斤を飼養してゐるのと首肯出来るのである故に斯る地方に於ては農家か自覺した場合實利鶏の爲に追々其勢力を失墜して行くのを見る次第であります本縣に於てもある時代にはかゝる流行を見たことも有つたのであるが現今は全く其面目を一新した様である

二、九斤と稱ふる地方に於ては愛翫的の飼養を離して實利的に進んで居る様に見受けます九斤の体格が「エーコク」に比し非常に小なる点を以てしても産卵上に主きを置くことか相像出来ず然しなから一般農家か九斤を飼養する最大眼目は實利的でありますか卵にのみ主きを置く譯てありませんので肉といふ点を加味して居ります畢竟廢鶏の賣却更代の際に何れの鶏より高價に且つ簡易に處置出来るといふ点に強き意味を持って居るのであります

以上の如く九斤系の鶏には二様の意味を以て熱心に飼養せられてをりますか前者はやゝもすれば頰勢に傾く様でありまして後者は益々其意義を發揮して居る様であります

出雲コーチン種設定の議

九斤に付ては以上述べた所て概畧其大要を盡したのであります一般農家の嗜好も何處にあるかは大概了解を得る筈たし九斤の長所も解り一般に普及しても敢て遜色はないことがいへ得るのであります偶々簸川郡の熱心なる當業者は此有利なる九斤を只理木とするのを残念に思ひ是非共一般農家と其利益を顧みたいとの熱心の希望を持つて居た結果簸川郡技師加地浩一郎氏首唱となり第一回の會議を大正十一年一月十一日簸川郡公會堂に於て開會し「出雲コーチン」種設定上に關し種々會商をなしたのであります

茲に「出雲コーチン」と命名したるは全く私の提唱でありまして公認を経た譯のものでもありませんか種類の名稱は通俗的に地名を取て呼ぶことか最も腦裡に浸み込み易く且つ世界の命名法か同一筆法であります所よりかく名を呼ぶ方か宜しかろうと思つたのであります九斤と申しまして其意味を了解したものでなければ直に解り難く通俗的の呼稱とも覺ません此命名には色々考たつてすか中々甘い明案か出来ませんと

うか諸君に於ても垂教のほどを願て置く次第であります會議に列席した當業者は簸川郡に於て全種に對し最も熱心家を網羅した譯て住所氏名を左に掲ぐることに致します

- 簸川郡 大津村 山田正義氏
- 全 郡 平田町 板倉要四郎氏
- 全 三島和三郎氏
- 全 高橋利之助氏
- 全 山口貞之助氏
- 全 花谷藏市氏

全 郡 伊波野村 富原熊之助氏
全 郡 布智村 高見林助氏

尚篠川郡農會より技師加地浩一、氏藤部覺市、氏岩崎富氏、島根縣種畜場より技師長谷川半七氏、技師永田二郎氏出席しました。

會議の主要眼目は九斤種の設定であります。か種々の支障が出来まして到底一朝一夕に之を決定すること出来ません。九斤種を通覧しますると体格に非常なる相違があり、羽毛にも中々異な点があります。又体型に於ても卵用に近似したのもある様で、体型の標準か第一に定り兼ねます。産卵は非常に多いのと僅に六―七十個のものもあるか如く、能力の点に付ても確然といひきれないのである。勿論肉の方面も同様であります。本會議は九斤種を設定する方法手段に付討議をなし左の議案を得たのであります。畢竟種類設定はまつ試験研究の後に譲ることゝなつたのであります。

出雲コーチン種決定に關する試験

一、目的

一、本種にして現在するものゝ体型は大凡左の三つに別つことを得
イ、骨格過大にして脚長く冠並に肉髯は厚く短く發育し尾羽小にして胴短きもの
ロ、骨格小にして脚短く冠並肉髯の發育良好にして胴短く尾羽長く發育せるもの
ハ、骨格中等にして脚短く冠並に肉髯薄く長く發育し胴比較的長く羽毛の發育殊に軟羽の發育豊富なるもの

試験ノ方法

一、試験に供用鶏

- (イ)に屬する体型を具備せる種禽三雌一雄を一組
- (ロ)に屬する種禽三雌一雄を一組
- (ハ)に屬する種禽三雌一雄を一組

以上三組を選定し各種一組以上を縣立種畜場に飼養し其他各種一組以上を篠川郡の主なる養鶏組合又は熱心確實なる養鶏家に依託試験を爲すものとす

試験事項

- 一、飼料を一定にすること
- 一、孵化后初産に至る日數
- 一、發育模様(毎月)
- 一、初産卵の重量並に初産當時の雌雄の体量
- 一、産卵重量並に個數(一ヶ月毎)
- 一、換羽に要する日數

- 一、卵殻の厚薄と色澤
- 一、就巢に依る休産日數
- 一、遺傳ノ參考に供する目的を以て試験鶏の卵種一抱孵化を行ふこと
- 一、廢鶏の價値

以上試験項目に就ては詳細なる記録を爲さしめ毎月一回郡農會に於て郡内の試験依託者の實地に於て調査明記せる帳簿と實物照台の上種畜場に報告するものとす

本試験は試験開始後一ヶ年間を以て終了するものとす

右申述べた様な大体方針を以て試験を施行しまして鶏の發育關係やら色々のことを明にし体型の標準を定むる資としますし尙併せて能力の關係も畧々知ることか出來ますから「出雲コーチン」種の何たるかを大体に於て確立することが出來るたろーと思ひます而して試験年限を一ヶ年と致しましたのはあまり短期間でないかとの疑問も起りますから第一期の試験で満足の結果を得させねば更に第二期の試験に移りましても差支はないのであります然し多年間同種に對し苦心して飼育した今日であるから只種類を設定するに必要なる原理丈けを明確し得ることか出來ればまづ大体に於て満足しなればならないかとも思はれます依て取り敢す一ヶ年の最短時間に於て最も正確なる試験を成就致したとて考て居ります更に茲に御斷りを致さねばならぬことは能力及經濟關係に於て全種の試験のみでは其効果なるものか確立せられぬ点かありますから何か他に之に對する對照的試験を施行する必要か當然起るのでありますから此点に付相當の方法を講ずる必要かあります

彼の名古屋「コーチン」種は我が農家には一般に飼育せられて便宜の鶏たといはれて居りますか丁度其体型

及農家の飼育觀念等か出雲「コーチン」種に似て居ります依て對稱動物として採用するのが最も便宜か多かるーと思ひます此等の飼育管理其他の施設等は全一程度とすることは勿論であります

將來ノ希望

出雲「コーチン」種の設定は當業者一般に渴望して居る所て且つ其結果の期待に對しても中々盛であることは茲に贅言を要しませんが種々の種類の設定は極て嚴格なる意義を包含せざるへからざることを知る必要かあるたろーと思ひます茲にある者か改良上に付苦心もし努力も拂た結果珍種類を創造したとするも之を天下に公表することを忘れたとすれば全く一箇人の翫弄物に過ぎん只己れの慰藉の爲斯くの如き無害無益のある物を作たといふに歸着するのではなからーかしますれば幸に茲に一種類を作つたとすは天下に公表することを忘れてはならない即ち一般公衆の爲に有利なる事實を紹介もし宣傳もして自他共に其利に浴する方を取る必要かあるのてあります茲に於て其種類は始て産業上必要なるものと認められ眞の價値を生ずる次第であります之れか種類を設定するに置きまして嚴格なる意義と解したのであります斯る所より察しますれば新種類の設定は一人又は數人の利益を目的とするのではなく産業上から見て万人の當業者に利益を割愛するものてなければならぬのであります若し之を利用して私腹を肥さんとするか如き輩は絶對に排斥すべき筈であります

幸に本縣に於ては出雲「コーチン」種設定の爲試験に着手せんとする機運に向ひ近き將來に於て何等かの解決を得んとする場合益種類設定上の觀念を培ひ以て社會の爲一臂の勞を吝まざらんことを希望して止まぬ次第であります

大正十一年五月廿五日印刷
大正十一年五月廿八日發行

鳥根縣種畜場

松江殿町二十九番地
印刷者 蒲生善之助

松江殿町二十九番地
印刷所 蒲生活版所
電話二百四番

鳥根縣種畜場

松江市殿町二十九番地

印刷者 蒲生善之助

松江市殿町二十九番地

印刷所 蒲生活版所

電話二百四番

大正十一年五月廿五日印刷
大正十一年五月廿八日發行

14.2
1
25/1

終